

えがお 😊😊 のぞきあな

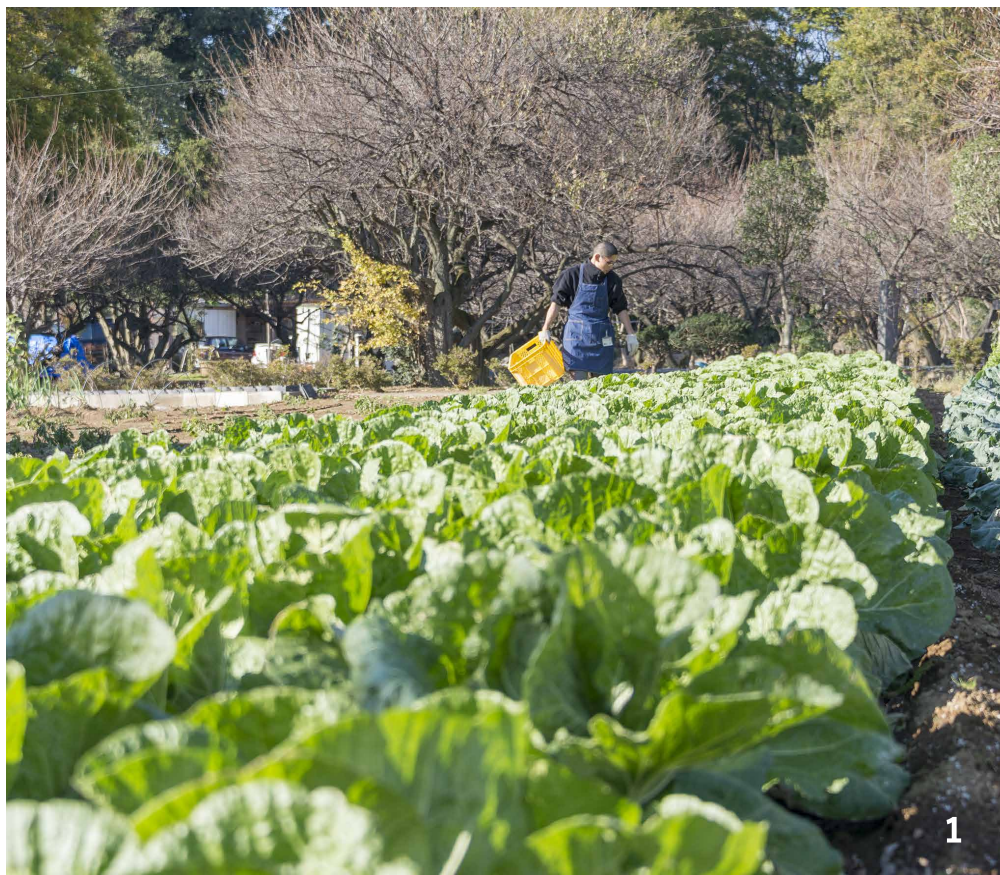
2017年 **12** 月 しわす

広大な畑と
豊かな自然のある
八千代町の介護事業所



『えがお』の庭に咲くセンニチコウ

※農園や事業所内散策、お出かけなどの際には、当社スタッフが利用者様の介助を行っております。



11月のえがお農園

冬だけど緑いっぱい

庭の木々が葉を落とし、徐々に庭の「緑色」が無くなってきましたが、えがお農園では青々としたハクサイやキャベツなどが成長中。冬の野菜とはいえ、寒さにやられてしまわぬように、しっかりと手入れを続けています。

えがお農園とは

季節ごとに様々な野菜を育てる自社農園。ビニールハウスもあります。採れた作物は利用者様のお食事の材料としても使われています。畑仕事は利用者様も参加可能。



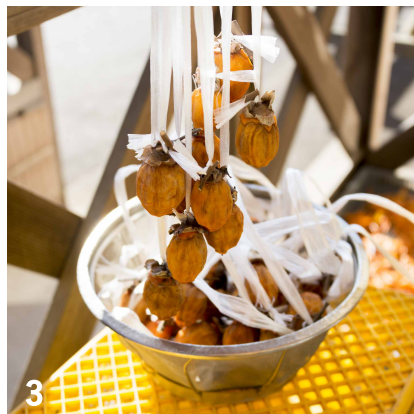
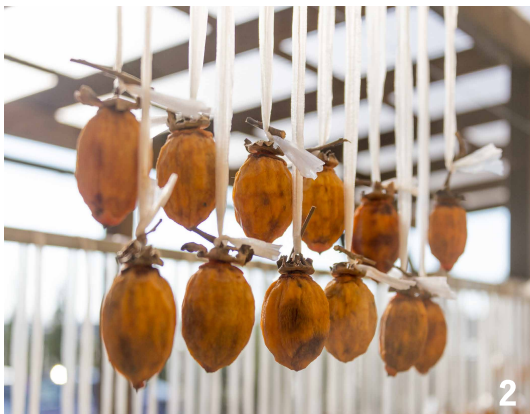
写真について

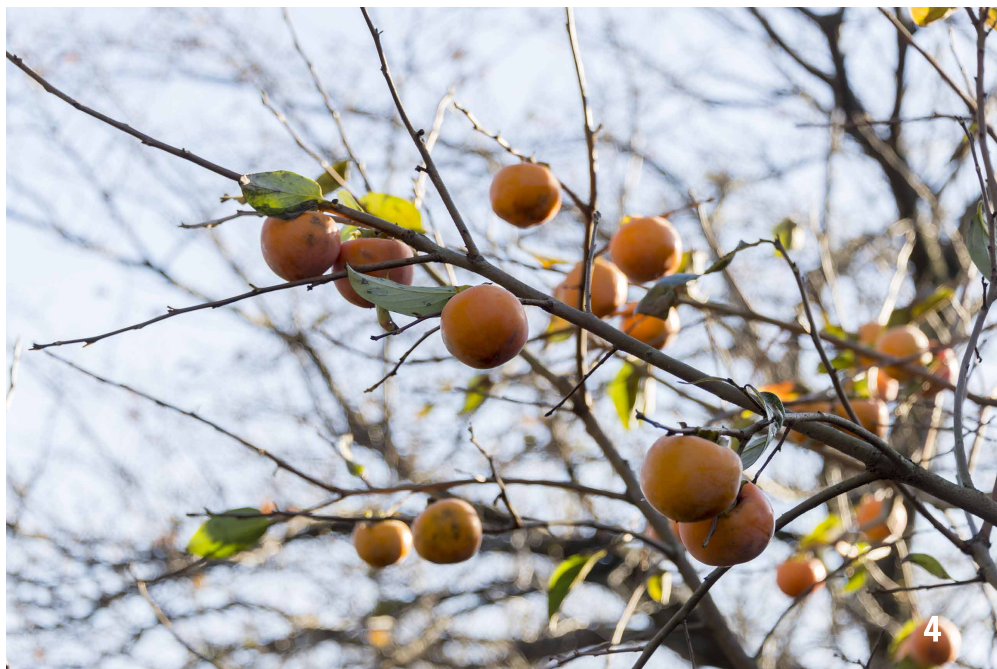
- 1_ 茶色くなりがちな冬の畑に、鮮やかな緑を添えてくれるハクサイ。
- 2_ 食べきれなかったトマト。土に還ってまた来年。
- 3_ 寒さにあたることで甘みが増すキャベツ。食卓には頻繁に登場。
- 4_ ビニールハウスの中は、役目を終えたツルも撤去され、がらんとしてしまいました。

干し柿の手作りおやつ

日本の伝統的ドライフルーツ

甘くておいしい、日本の伝統的なドライフルーツといえば「干し柿」。今年も、ペランダいっぱい干して作りました。そのまま食べるのもよし、きざんでも、ペーストにしても美味しい。たくさんあるので、しばらくの間冬の味覚を楽しめそうです。





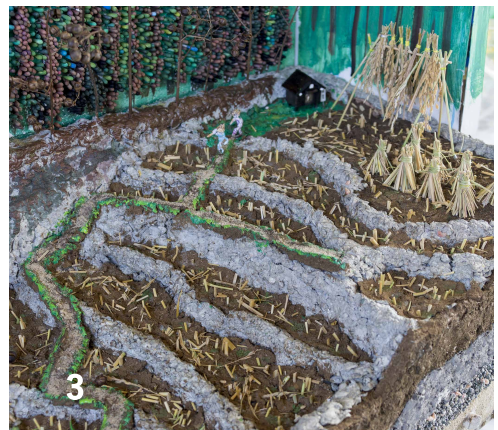
写真について

- 1_ベランダでつくる干し柿。利用者様にとっては懐かしく、若い人にとっては新しい光景。
- 2_寒風にあてた甲斐あって、やっと食べごろになってきました。
- 3_おやつ用に、食べる分だけ干し柿を収穫。
- 4_今回の干し柿の材料は、第2農園の渋柿。そのほか、『えがお』には甘柿もなっています。
- 5_干し柿にリンゴやハクサイを添えて、季節を感じる本日のおやつ。

八千代の秋まつり作品出展

今年も大作を出展しました

今年も『えがお』では、利用者様とスタッフが力を合わせて作った作品を「八千代の秋まつり」に出展。また、展示期間中にみんなで出かけをして、作品鑑賞会も行いました。すこし遅れて、「芸術の秋」を堪能です。





写真について

- 1_ デイサービスは「美しい日本の風景」グループホームは「折り紙タペストリー」を出展。
- 2_ 山の紅葉は、なんと色を付けた綿棒！利用者様の器用な指先がなせる業。
- 3_ 山のふもとには「棚田」。守り続けたい日本の原風景ですね。
- 4_ なんと、真横から見ると、精巧につくられた「地層」も現れます！
- 5_ 鑑賞会不参加の利用者様のお土産に、テイクフリーの「傘」の作品を頂きました。
- 6_ ひとりじっくりと作品を鑑賞するのも、「八千代の秋まつり」の楽しみ方。

『えがお』からのお知らせ

2017年12月の主なイベント予定

7日(木): SOOD and Yuka スペシャルライブ / 12日(火): 詩吟&ハーモニカショー / 14(木): ニコニコ健康教室 / 18日(月): ニコニコ健康教室 / 20日(水): 移動美容室ジャスミン / 28日(木): 年末恒例餅つき大会

その他イベントも企画中! (予告なく変更される場合がございます)

介護のご相談(無料見学・無料相談承ります)



「認知症ケア専門士」「主任介護支援専門員」「実務者研修教員」の資格を持ったスタッフが在籍しております。

『えがお』へのお問合せはこちらから。

0296-48-3900

不安や悩みは一緒に解決しましょう。

『えがお』のスタッフがご対応いたします

代表あいさつ



『えがお』代表 小口邦夫(こぐち・くにお)

座右の銘は、「一期一会」!

あつという間に一年の最後の月。西日を防ぐカーテンを開いたり、加湿器の電源を入れたり、ひざ掛けを用意したりと、毎日の仕事が完全に冬のふるまいになってきました。2017年の最後の年、風邪に気をつけてじっくり過ごしましょう。

事業所について

●運営会社

有限会社スズショウ

●住所

〒300-3553

茨城県結城郡八千代町落田 161-10

●お電話

デイサービス: 0296-48-3900

グループホーム: 0296-48-3915

●FAX

0296-30-2161

●ホームページ

<http://www.egao-suzushou.com>

アクセスマップ

